

N8804-014 1000BASE-T 4ch ボードセット ユーザーズガイド

まえがき


このたびは、N8804-014 1000BASE-T 4ch ボードセット をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は、N8804-014 1000BASE-T 4ch ボードセット（以下「本製品」と呼びます）を正しく、安全に設置、使用するための手引きです。本製品を取り扱う前に必ずお読みください。また、本製品を使用する上でわからないこと、不具合が起きたときにもぜひご使用ください。本書は必要な時にすぐに参照できるように必ずお手元に保管してください。

本製品を取り付ける基本処理装置（以下「本体装置」と呼びます）の取り扱いについての説明は、本体装置に添付の説明書を参照してください。また、本製品を取り扱う前に「安全上のご注意」、「取り扱い上のご注意」を必ずお読みください。

本製品の製品型番および製品名について

本体装置の説明書および各種ユーティリティのご使用にあたっては、下記の表に従い、本製品の製品型番を読み替えてご使用ください。

読み替え前		読み替え後
N8804-012		N8804-014
1000BASE-T 2ch ボードセット		1000BASE-T 4ch ボードセット
I350 2-Port Gigabit Adapter		I350 4-Port Gigabit Adapter

商標について

Microsoft とそのロゴおよび、Windows, Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、インテルは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。



本書は必要な時にすぐに参照できるように必ずお手元に保管してください。
「使用上のご注意」および「取り扱い上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 - 必ずお読みください -







本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。
また、本文中の名称についてはユーザースガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

安全にかかわる表示





本書では危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
 注意	火傷や怪我などを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。




表示は次の3種類の記号を使って表します。それぞれの記号は次のような意味を持つものものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (コードを抜く)



注意の喚起

	特定しない一般的な注意・警告を示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。
	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。

行為の強制

	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	本装置の電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全に活用してください。記号の説明については巻頭の「安全にかかわる表示」の説明を参照してください。



警告



人命に関わる業務や信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれら機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損傷などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。



自分で分解、修理、改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。故障の際は買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

本製品の取り付け／取り外しは、本体装置の電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても、電源コードを接続したまま装置内の部品やケーブル／コネクタに触ると感電したり、ショートにより火災を起こしたりすることがあります。また、ぬれた手で本装置の取り付け・取り外しを行わないでください。故障するばかりでなく、感電するおそれがあります。



煙や異臭・異音が生じたまま使用しない

万一、煙・異臭・異音などが生じた場合は、ただちに電源を OFF にして電源コードをコンセントから抜いてください。その後、買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



ほこりが積もった状態で運用しない

定期的に清掃してください。本製品にほこりが積もった状態で運用を続けると、火災の原因となるおそれがあります。清掃が必要な場合は、買い求めの販売店、または保守サービス会社にご相談ください。

注意



ケーブル部を持って引き抜かない

ケーブル部分を抜くときはコネクタ部分およびタブを持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。



高温に注意する

本体装置の電源を OFF にした直後は、装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け／取り外しを行ってください。



確実に接続する

本製品を本体装置の PCI スロットに接続するときは、確実に差し込んでください。完全に差し込まなかった場合、発煙や発火のおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源コードおよびケーブルは根本までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



ぬれた手で電源コードをもたない

本製品の取り付け、取り外しの際は、ぬれた手で本体装置の電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



指定以外のケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、当社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより感電や火災を起こすことがあります。

インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ・破損したケーブルを使用しない。
- ・ケーブルを踏まない
- ・ケーブルの上にものを載せない
- ・ケーブルを改造・加工・修復しない

また、LAN ケーブルを取り外すときは、コネクタ部分を押さえて真っすぐに引き抜いてください。LAN ケーブルは、当社指定のものを使用し、接続先をよく確認した上で接続してください。



携帯電話などを近くで使用しない

携帯電話やPHS、ポケットベルなどを近くで使用しないでください。電波による誤動作の原因となります。



腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。

また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。

装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



取り扱い上のご注意 - 本製品を正しく動作させるために -

本製品を使用するときに注意していただきたいことを次に示します。これらの注意を無視して、本製品を使用した場合、資産(データやその他の装置)が破壊されるおそれがありますので必ずお守りください。

- 本書に記載されている説明をよくお読みになり、正しく取り扱ってください。
- 本製品を落としたり物にぶついたりしないでください、誤動作や故障するおそれがあります。
- 携帯電話やPHS、ポケットベルなどを近くで使用しないでください。電波による誤動作の原因となります。
- 危険防止および故障防止のため作業を行う際には、本体装置の電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
ただし、ホットスワップ(活線挿抜)対象製品の取り付け/取り外し時の電源スイッチの OFF および電源プラグのコンセントからの取り外しは除きます。
- 本製品は静電気に弱い電子部品で構成されています。製品の取り付け/取り外しの際は、静電気による製品の故障を防止するため静電気対策用リストストラップなどの装着により静電気を除去してください。また、リストストラップを使用する場合は、接地された箇所に接続して使用してください。
- ケーブルの取り扱い
LANケーブル等のケーブルを接続する場合も床面との摩擦によって静電気が帯電することがあります。
帯電した状態で入出機器に接続すると機器を破壊することがありますので接続する前には除電キット等を使用して除電することを推奨します。
注) 静電気除電キットについて
下記の静電気除電キットについては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。
品名：LANケーブル除電治具
型名：SG001 (東京下田工業(株)製)
- 本体装置のPCI スロットにうまく本製品を取り付けられないときは、いったん本製品を取り外してから取り付けなおしてください。過度の力を加えると破損するおそれがありますので注意してください。
- ケーブル接続時は、カチッと音がするまでケーブルコネクタを挿入してください。
- 本製品の取り付け、取り外しは、消毒薬が手指に付着した状態で行わないでください。消毒薬が本機に付着することにより、腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。




本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。本製品を使用される前に本書をよくお読みになり、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。本製品の移設の際は必ず本書も一緒に移設してください。

■本書は、オペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置の基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号

本文中では次の3つの記号を使用しています。それぞれの意味を示します。（「安全にかかわる表示」については3ページを参照してください。）

	本製品を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意すべき点を示します。
	本製品を取り扱う上で確認しておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

梱包箱の中身について

梱包箱の中には本製品以外に添付品が入っています。「2.構成」を参照し、すべての添付品がそろっていることを確認してください。万一、足りないものや破損しているものがあつた場合には、本製品をご購入された販売店にご連絡ください。

保証について

本製品には「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間中に故障した場合には、「保証書」の記載内容に基づき無償修理致します。保証後の修理については、ご購入された販売店もしくはご契約されているNEC保守サービス会社にご相談ください。

製品寿命について

本製品の製品寿命は5年です。本製品の交換については、本製品をご購入された販売店もしくはご契約されているNEC保守サービス会社へご相談ください。

第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡（または売却）する時には、必ず本書を含むすべての添付品をあわせて譲渡（または売却）してください。

ソフトウェアに関しては、譲渡した側は一切の複製物を所有しないでください。また、インストールした装置から削除した後、譲渡してください。

輸送について

本製品を輸送する際は、「2.構成品」を参考に本体装置から本製品を取り出し、本製品とすべての添付品を購入時の梱包箱に入れてください。

データの保管について

オペレータの操作ミス、衝撃や温度変化等による装置の故障によってデータが失われる可能性があります。万が一に備えて、ハードディスクドライブに保存されている大切なデータは、定期的にバックアップを行ってください。

廃棄について

本製品の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従って分別廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

目次

使用上のご注意 - 必ずお読みください -	3
安全にかかわる表示	3
安全上のご注意	5
取り扱い上のご注意 - 本製品を正しく動作させるために -	7
本書について	8
本文中の記号	8
梱包箱の中身について	8
保証について	8
製品寿命について	8
第三者への譲渡について	9
輸送について	9
データの保管について	9
廃棄について	9
目次	10
1. 本製品について	11
1-1. 仕様	11
1-2. 本製品の特徴	11
1-3. 本製品における本体装置のサポート状況および搭載制限	11
2. 構成品	12
3. 各部の名称と機能	13
4. セットアップ手順	14
4-1. ブラケットの取り付け	15
4-2. 本体装置への取り付け	17
4-3. ネットワーク二重化の設定	24
4-4. ネットワークケーブルの接続	26
5. 困ったときの処理	27
5-1. 困ったときの処理	27
Regulatory Notices	28

1.本製品について

1-1. 仕様

項目		仕様	備考
規格		IEEE802.3 (1000BASE-T, 100BASE-TX, 10BASE-T)	
伝送速度		1000Mbps/100Mbps/10Mbps 全 2 重	
PCI Express バスタイプ		5GT/s x 4 レーン、PCI express 2.1	
外形寸法		68.9mm(幅)×135.4mm(奥行)	ブラケット含まず
重量		63g(ロープロファイルブラケット装着時) 68g(フルハイトブラケット装着時)	
消費電力		5.0W(最大)	
動作環境	動作時	温度 0 ~ 55℃ 湿度 20 ~ 80%	ただし結露しない こと
	保管時	温度 -40 ~ 70℃ 湿度 5 ~ 90%	

1-2. 本製品の特徴

本製品は、Express5800/ft サーバ向けのオプション LAN ボードです。
1000Mbps、100Mbps、10Mbps に対応した LAN ポートを4つ備えた PCI カードであり、
4 レーンの PCI EXPRESS 2.1 に対応しています。
本製品はブラケットの交換によりフルハイトの PCI スロットに実装可能です。



- 弊社が指定する本体装置以外には接続しないでください。指定以外の本体装置に接続できたとしても本製品が正常に動作しないばかりか、故障するおそれがあります。
- 接続可能な本体装置については、本製品を購入された販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

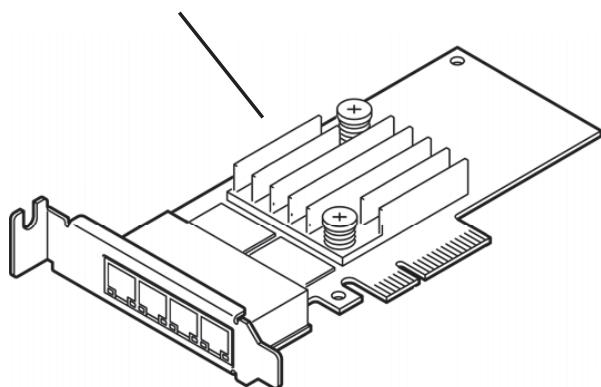
1-3. 本製品における本体装置のサポート状況および搭載制限

Express5800/ft サーバでは、本製品を使用するにあたり、モデル、OSおよびソフトウェアによる制限や、搭載枚数に制限があります。本製品のサポート状況につきまして、最新のシステム構成ガイドをご参照ください。

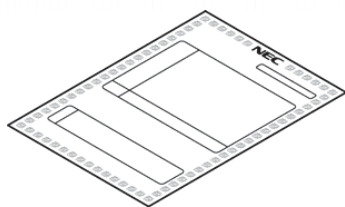
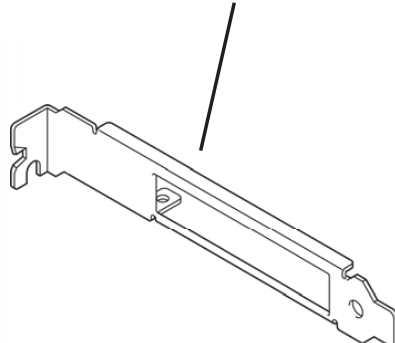
2.構成品

梱包箱には次のものが入っています。中身をご確認いただき、不足しているものや破損しているものがないか、ご確認ください。万一、不足や破損しているものがありましたら、本製品を購入された販売店にご連絡ください。

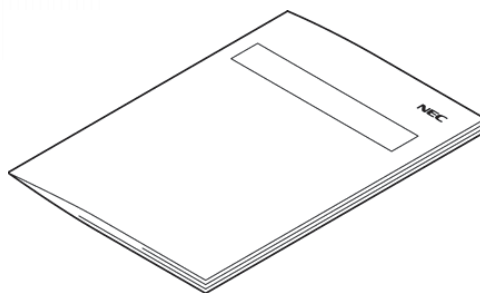
□ LAN ボード *2 枚



□ フルハイトPCIブラケット*2 枚



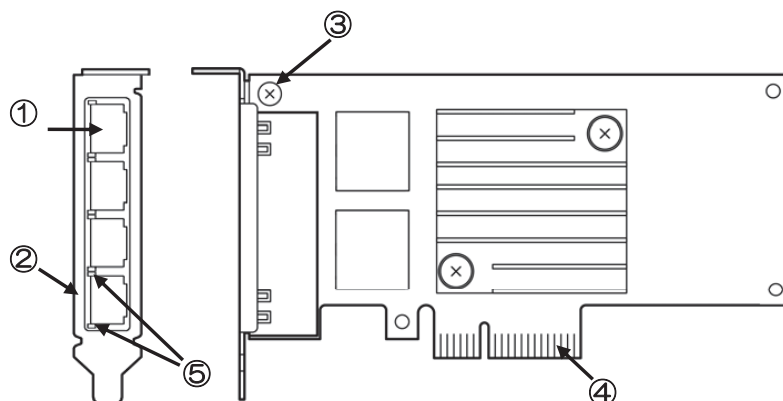
□ 保証書



□ ユーザーズガイド

品名	数量	備考
LAN ボード	2	ロープロファイル PCI ブラケット実装
フルハイト PCI ブラケット	2	
ユーザーズガイド	1	本書
保証書	1	

3.各部の名称と機能



① LANポート

ネットワークに接続するためのコネクタ。コネクタの形状は、“RJ-45”です。

接続できるケーブルの種類および接続方法については、「4.3 ネットワークケーブルの接続」を参照してください。

② ブラケット

本体装置の増設スロットへ固定するためのブラケット。



- フルハイトの PCI スロットに本製品を実装する際はフルハイトブラケットに交換する必要があります。

③ 固定ネジ

ブラケットを固定するためのネジ。

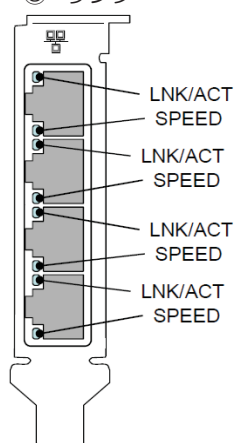
④ PCIバス接続部

本体装置の PCI スロットと接続するための端子。



- 本製品は PCI EXPRESS 2.1 に準拠した 4 レーンのスロットに対応しています。

⑤ ランプ



LINK/ACT ランプ

ランプの状態	ランプの意味	対処方法
緑色点灯	本体とハブに電力が供給されていて、かつ正常に接続されている。(LINK)	---
緑色点滅	ネットワークポートが送受信を行っている。(ACT)	---
消灯	ネットワークに繋がっていない。	LINK 状態なのにランプが点灯しない場合は、ネットワークケーブルの状態やケーブルの接続状態を確認してください。それでもランプが点灯しない場合は、ネットワーク (LAN) コントローラが故障している場合があります。保守サービス会社に連絡してください。

SPEED ランプ

ランプの状態	ランプの意味	対処方法
アンバー点灯	1000BASE-T で動作	---
緑点灯	100BASE-TX で動作	---
消灯	10BASE-T で動作	---

4. セットアップ手順

次の手順に従って本製品のセットアップを行います。



警告



電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

本体装置に取り付ける際は、本体装置の説明書をよくお読みになり、電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。また、ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。故障の原因となるばかりか感電するおそれがあります。

電源プラグはプラグ部をもって引き抜いてください。コード部分を持って引き抜くと、コードの被覆が破損し、漏電や感電のおそれがあります。



注意



高温に注意する

本体装置の電源を OFF にした直後は、装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け／取り外しを行ってください。



確実に接続する

本体装置に取り付ける際は確実に接続してください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

本書「ユーザーズガイド」の説明範囲

ブラケットの取り付け

→15ページ

本製品にブラケットを取り付けます。



本体装置への取り付け

→17ページ

本体装置に本製品を取り付けます。



ネットワーク二重化の設定

→24ページ

本製品のネットワークの二重化を設定します。



ネットワークケーブルの接続

→26ページ

本製品にネットワークケーブルを接続します。

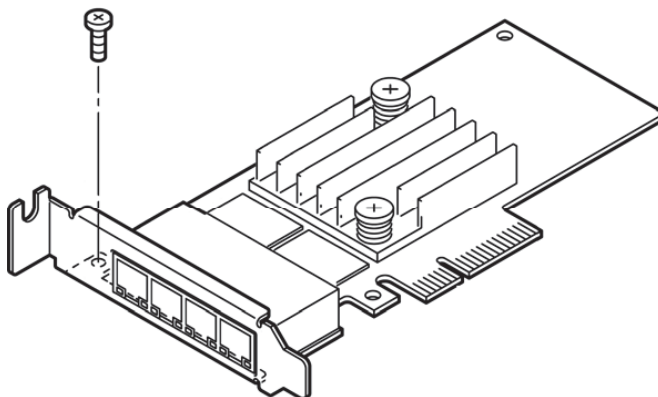
4-1.ブラケットの取り付け

ご購入時、本製品にはロープロファイルタイプの PCI ブラケットが取り付けられています。
本製品をフルハイトに対応した PCI スロットに取り付ける場合は、添付されているフルハイトタイプの PCI ブラケットに交換する必要があります。

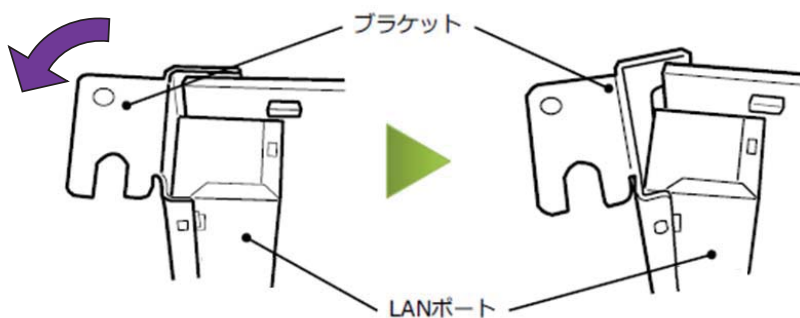


- ブラケットの交換には、固定ネジのサイズに合ったプラスドライバーを使用します。

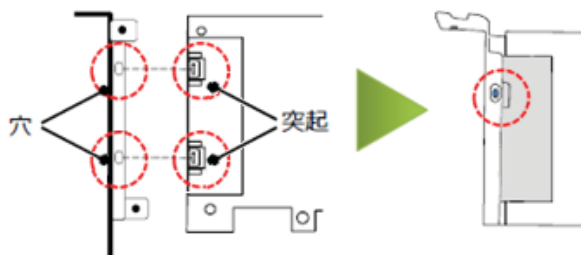
1. 固定ネジ(1本)を取り外します。



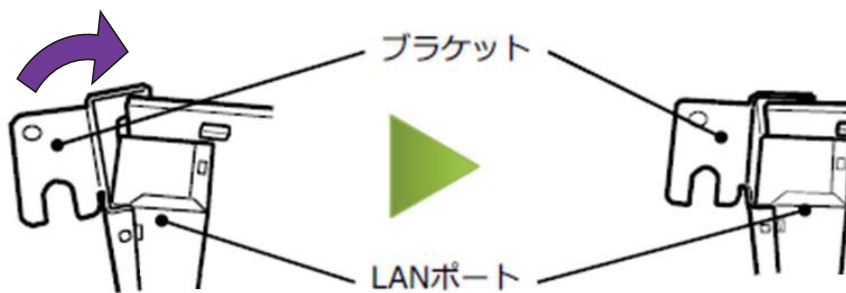
2. ブラケットを左図の矢印方向に動かして外します。



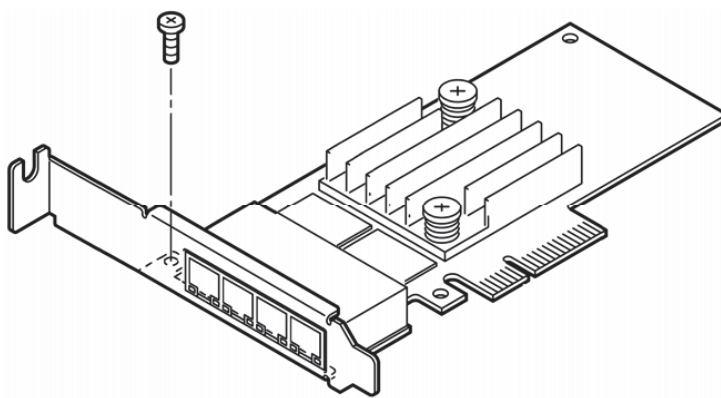
3. フルハイトブラケットを本製品に取り付けます。
ブラケットの穴(2カ所)と、LANポートの突起(2カ所)を合わせます。



4. ブラケットを左図の矢印方向に動かしてブラケットを取り付けます。



5. 固定ネジ(1本)を取り付けます。



- フルハイトブラケットから標準のロープロファイルブラケットに取り替える時も同じ手順です。



重要

- 取り外したブラケットは無くさないように大切に保管してください。

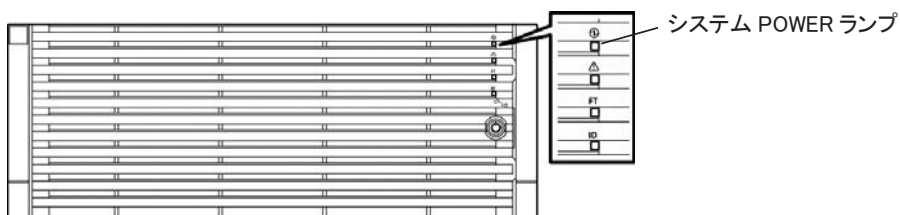
4-2. 本体装置への取り付け

次に示す手順に従って本製品を本体装置に取り付けます。



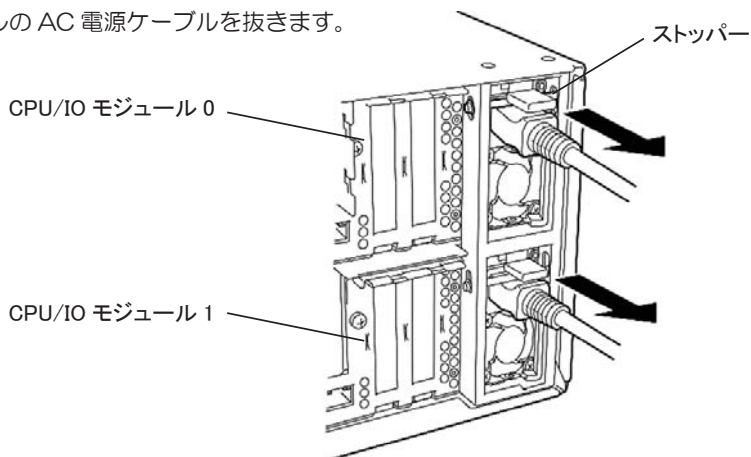
- PCI カードの取り付け・取り外し方法、PCI スロットの位置は本体装置により異なりますので、必ず本体装置に添付の「メンテナンスガイド」も合わせてお読みください。
- 本体装置の PCI スロットにうまく本製品を取り付けられないときは、一度、本製品を取り外してから、再度、取り付けし直してください。過度の力を加えると破損するおそれがあります。

1. 本体装置の電源が OFF（システム POWER ランプが消灯）になっていることを確認します。



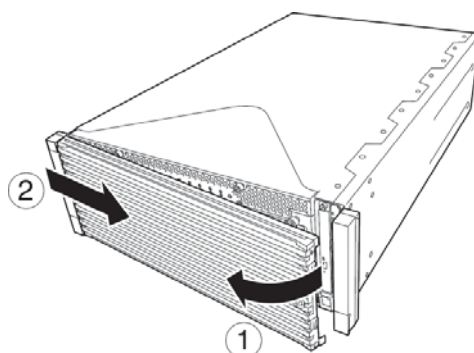
- 本体装置の電源が ON（システム POWER ランプが点灯）になっている場合は、OS 上でシャットダウン処理を行って、電源を OFF（システム POWER ランプが消灯）にしてください。

2. 各 CPU/IO モジュールの AC 電源ケーブルを抜きます。

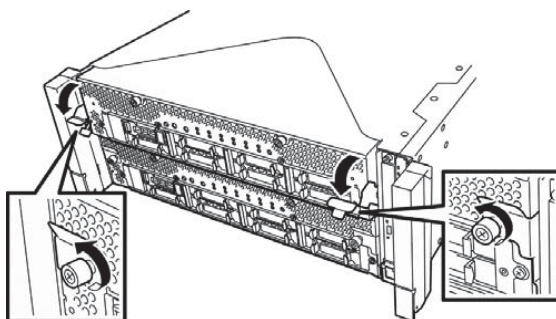


- AC 電源ケーブルを抜いた後、ストッパーが下がることを確認してください。AC 電源ケーブルを抜いて、ストッパーが下がった状態にならないと、CPU/IO モジュールを引き出すことができません。ストッパーが下がらない場合は、一度、CPU/IO モジュールを奥まで差し込んでください。
- AC 電源ケーブル以外のケーブルが接続されている場合、すべてのケーブルを一度、取り外してください。

3. 本体装置のフロントベゼルを取り外します。

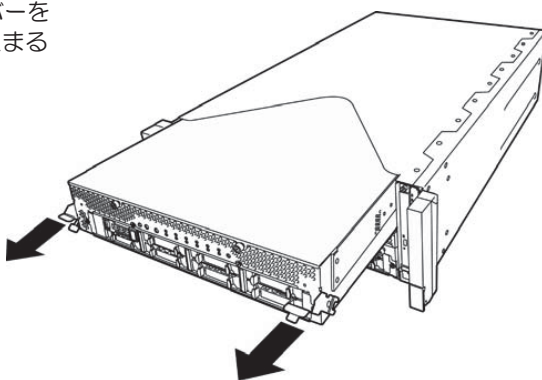


4. CPU/IO モジュール前面の両端にある黒いレバーのネジをゆるめ、レバーを手前に倒します。



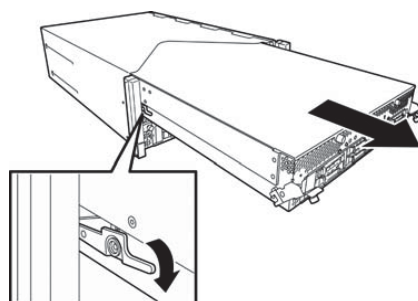
- CPU/IO モジュールを引き出す前に装置背面を確認し、周辺機器やネットワークへのケーブルが取り外されていることを確認してください。ケーブルが接続されている場合は、各ケーブルの接続位置を記録し、引き出そうとする CPU/IO モジュールに接続されているすべてのケーブルを取り外してください。

5. CPU/IO モジュールの両端にある黒いレバーを持って引き出します。ロックがかかって止まるまで引き出します。

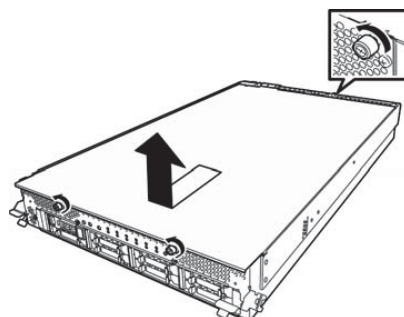


- レバー以外の部品を持って引き出さないでください。
- CPU/IO モジュールを落としたり、装置内部の部品にぶついたりしないよう慎重に取り扱ってください。

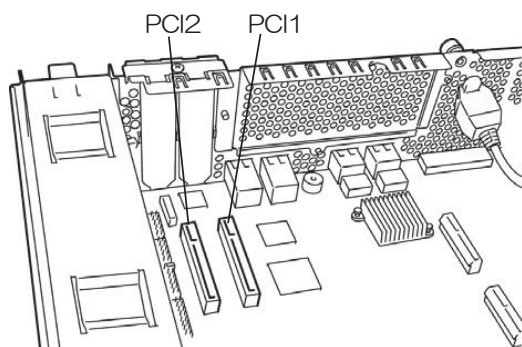
6. CPU/IO モジュール側面にあるロックを下げてロックを外し、そのまま引き出します。



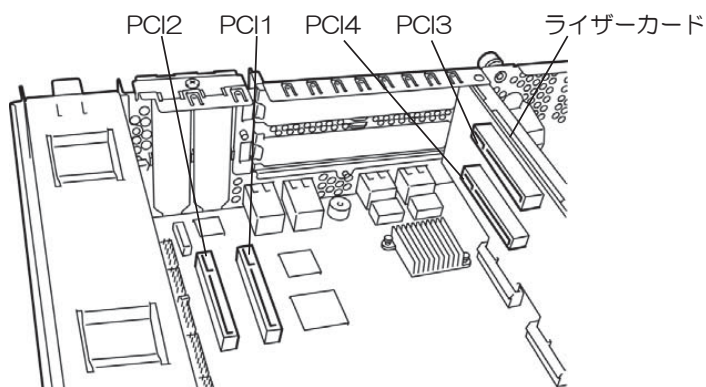
7. CPU/IO モジュールにあるネジ 3 本(前面 2 本、背面 1 本)をゆるめ、CPU/IO モジュールのトップカバーを取り外します。



8. 取り付ける PCI スロットの位置を確認します。



<R320x-E4 モデル>



<R320x-M4 モデル>



注意

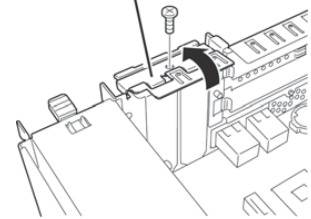
- Express5800/ft サーバでは、本製品を取り付けるにあたり、搭載可能なスロット位置に制限があります。本製品のサポート状況につきまして、最新のシステム構成ガイドをご参照ください。
- 本体装置の PCI スロットにうまく本製品を取り付けられないときは、いったん本製品を取り外してから取り付けしなおしてください。過度の力を加えると破損するおそれがありますので注意してください。

9. 次に示す手順に従い、PCI スロットへ本製品を取り付けます。

＜ロープロファイル (PCI-1、PCI-2) の場合＞

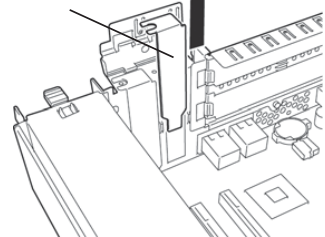
1. PCI リテンションラッチのネジ(1 本)を外し、ラッチを開きます。

PCI リテンションラッチ



2. ブランクカバーを取り外します。

ブランクカバー



重要

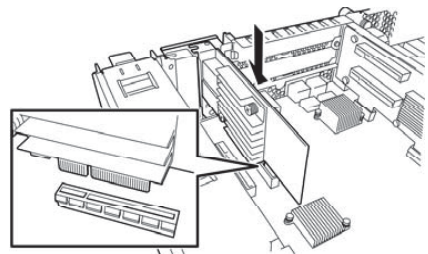
取り外したブランクカバーは、大切に保管してください。

3. PCI スロットに PCI カードを取り付けます。

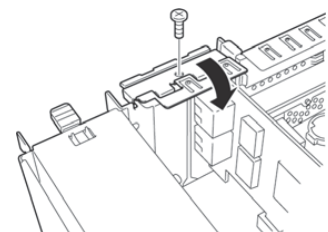


重要

PCI カードを二重化させるために、それぞれの CPU/IO モジュールの同スロットに本製品を取り付けてください。



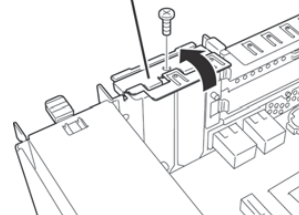
4. ラッチを閉じ、手順1で取り外したネジ(1 本)で、再度、固定します。



＜フルハイトブラケット（PCI-3、PCI-4）の場合＞-----

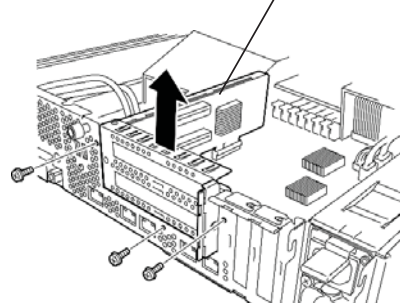
1. PCI リテンションラッチのネジ(1 本)を外し、ラッチを開きます。

PCI リテンションラッチ

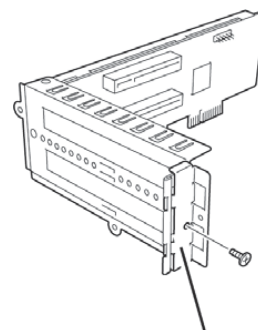


2. PCI ライザーカードのネジ(3 本)を外し、PCI ライザーカードをマザーボードから取り外します。

PCI ライザーカード



3. ネジ(1 本)を外し、PCI ライザーカードの PCI リテンションラッチを開きます。

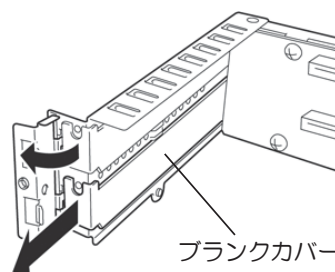


PCI リテンションラッチ

4. ブランクカバーを取り外します。



取り外したブランクカバーは、大切に保管してください。

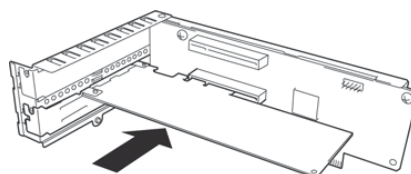


ブランクカバー

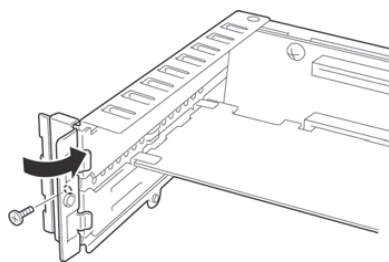
5. PCI スロットに PCI カードを取り付けます。



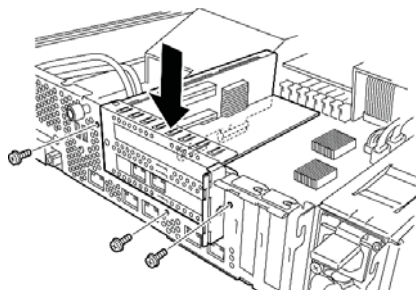
PCI カードを二重化させるために、それぞれの CPU/IO モジュールの同スロットに本製品を取り付けてください。



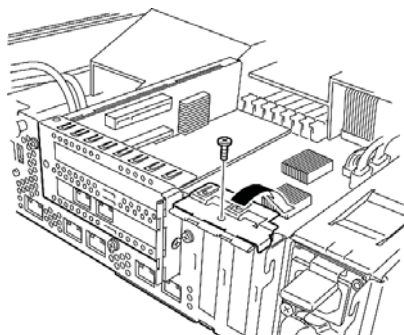
6. ラッチを閉じ、手順3で取り外したネジ(1本)で、再度、固定します。



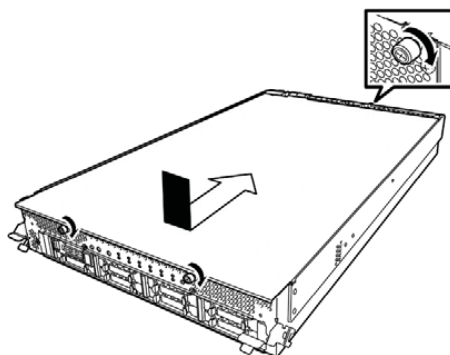
7. PCI ライザーカードをマザーボードに実装し、取り外したネジ（3本）で固定します。



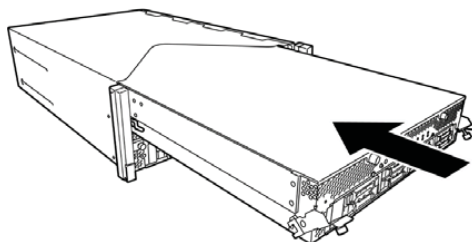
8. ラッチを閉じ、取り外したネジ（1本）で固定します。



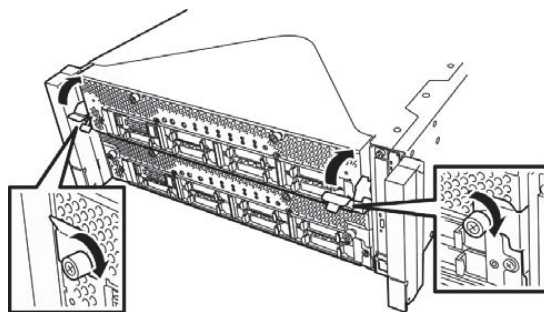
-
10. 取り外した CPU/IO モジュールの
トップカバー取り付けます。



11. CPU/IO モジュールを両手でしっかりと持ち、ラックへ差し込みます。



12. CPU/IO モジュール前面の両端にある黒いレバーを上げ、ネジで固定します。



13. 同様に、もう一方の CPU/IO モジュールにも、PCI カードを実装します。

14. 両方の CPU/IO モジュールに PCI カードを実装後、それぞれ CPU/IO モジュールの AC 電源ケーブルを接続します。



- AC 電源ケーブル以外のケーブルを取り外していた場合は、それらのケーブルも接続します。

4-3.ネットワーク二重化の設定

OS 起動後、ネットワークの二重化の設定を実施します。

<OS が Windows の場合>

OS 標準の NIC チーミング (LBFO) を使用して設定します。

以下の各説明書を参照して設定してください。

- 本体装置「インストールガイド (Windows 編)」 -
「1 章 OS のインストール」 - 「LAN の二重化」



本体装置の「インストールガイド (Windows 編)」には、チーム作成用スクリプト (ftSysLbfo.ps1) を使用した LAN の二重化の設定手順を記載しております。チーム作成用スクリプト (ftSysLbfo.ps1) は、IO:SI(Slot):F(Function)の書式を使用しますが、本製品では、以下のようになります。

IO	:	10(PCI モジュール 0 側) 11(PCI モジュール 1 側)
Slot	:	6(オンボード 1GLAN) 1(PCI スロット 1) 2(PCI スロット 2) 3(PCI スロット 3) *R320x-M4 モデルのみ 4(PCI スロット 4) * R320x-M4 モデルのみ 12(オンボード 10GLAN) * R320x-M4 モデルのみ
Function	:	0(ポート#0 側) 1(ポート#1 側) 2(ポート#2 側) 3(ポート#3 側)

【チームの例】

チーム 0

IO10 SI6 Function 0(ポート#0 側) → 「10:6:0」
IO11 SI6 Function 0(ポート#0 側) → 「11:6:0」

チーム 1

IO10 SI6 Function 1(ポート#1 側) → 「10:6:1」
IO11 SI6 Function 1(ポート#1 側) → 「11:6:1」

チーム 2

IO10 SI6 Function 0(ポート#0 側) → 「10:6:2」
IO11 SI6 Function 0(ポート#0 側) → 「11:6:2」

チーム 3

IO10 SI6 Function 1(ポート#1 側) → 「10:6:3」
IO11 SI6 Function 1(ポート#1 側) → 「11:6:3」

チーム作成時にエラーが発生することがあります。

エラーが発生した場合には、いったん、-delete オプションでチーム設定を削除します。

```
>.\ftSysLbfo.ps1 -delete
```

この後、もう一度-create オプションを実行してチーム作成を実施してください。

<OS が VMware ESXi の場合>

VMware Host Client を使用して、同一仮想スイッチに複数のアダプタをバインドすることで設定を行います。以下の VMware 社のドキュメントおよび本体装置の各説明書を参照して設定してください。

- VMware vSphere のドキュメント
<https://docs.vmware.com/jp/VMware-vSphere/index.html>
(上記 Web サイトは予告なしに変更または削除される場合があります)
- 本体装置「インストールガイド (VMware 編)」 -
「1 章 OS のインストール」 - 「各種オプション装置の接続・設定」
- 本体装置「メンテナンスガイド (VMware 編)」 -
「2 章 機能変更、増設」 - 「ネットワークの二重化」

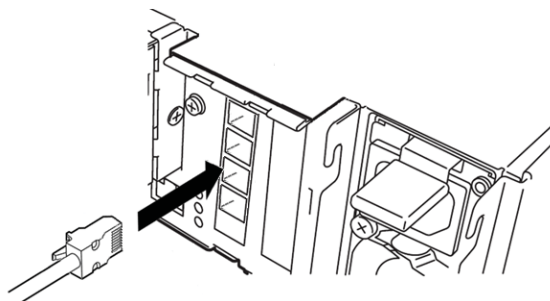
4-4.ネットワークケーブルの接続

次に示す手順に従って本製品にネットワークケーブルを接続します。

1. ネットワークケーブルの方のコネクタの向きを、本製品のコネクタの向きに合わせて接続します。



■ 接続時は、カチッと音がするまで差し込みます。



本製品の LAN ポートに接続可能なネットワークケーブルの種類は以下のとおりです。

コネクタ	RJ45 / オス	
ケーブルタイプ	ツイストペアケーブル(UTP または STP) 8 芯 4 ペア	
規格	ANSI/TIA/EIA 規格準拠	
	*使用される通信速度により要求されるケーブルの品質が異なります。	
	10BASE-T	Cat 3 以上
	100BASE-TX	Cat 5 以上
ケーブル長	1000BASE-T	Cat 5e 以上
	Max 100m	

2. ネットワークケーブルの他方のコネクタの向きを、接続する LAN 機器のコネクタの向きに合わせて接続します。

5. 困ったときの処理

5-1.困ったときの処理

本製品の取り付け後、OS やアプリケーションが正常に動作しない場合

以下の項目に従い、再度確認をしてください。

- ☐ サポートされている本体装置、OS およびソフトウェアで使用していますか？
- ☐ 搭載枚数の制限内で実装していますか？
- ☐ 正しく本体装置に取り付けられていますか？
- ☐ すべての LAN 機器の電源が入っていますか？
- ☐ すべてのネットワークケーブルおよび AC 電源ケーブルが正しく接続されていますか？
- ☐ LNK/ACT ランプは点灯または点滅していますか？
- ☐ CPU/IO モジュール間で、同じ PCI スロット番号に実装していますか？
- ☐ ネットワークの二重化時の設定を正しく実施していますか？

本製品がネットワークに接続できない場合

以下に該当する項目がある場合は、説明に従って正しく対処を行ってください。

- ☐ 本製品の通信モードを全二重モードに固定設定した場合は、リンクパートナーも全二重モードに固定設定されている

- ☐ リンクパートナー(スイッチングハブ等)と本製品の通信モード設定が同じであることを確認してください

本製品の通信モードを全二重モードに固定設定した場合は、リンクパートナーも全二重モードに固定設定されていることを確認してください。誤った通信モードに設定すると、パフォーマンスの低下やデータの消失、またはコネクションの消失を引き起こすことがあります。

- ☐ ネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

ネットワークケーブルは両方（本製品およびリンクパートナー(スイッチングハブ等)）の LAN ポートにしっかりと取り付けられていなければなりません。

- ☐ ネットワークケーブルの仕様を確認してください。

通信環境に合わせて、ご使用のツイステペアケーブルが、ネットワークケーブルの通信規格のカテゴリ基準を満たしているか確認してください。（「4-4 ネットワークケーブルの接続」参照）

また、各カテゴリに対する最大ケーブル長を超えている場合にも通信できないことがありますので、この場合は、別のケーブルを使用してください。

- ☐ ネットワークケーブルの配線状態を確認してください。

ケーブルに損傷があったり、極度に折れ曲がっている場合、または、重いものの下敷きになっている場合、通信できないことがあります。

- ☐ 本製品の LED の点灯状況を確認してください。

本製品は、LAN ポート付近に LED を備えています。LED の状態により、リンク確立状態およびトラフィック状態が分かります。「3 各部の名称と機能」を参考に、現在の LED 点灯状況を確認のうえ、現在の状況を確認してください。

- 本体装置への取り付け状況を確認してください。

本製品が正しく取り付けられているか、「4-2. 本体装置への取り付け」を参考に、確認してください。取り付けられている PCI スロットに原因があると思われるときは、もう一度しっかりと本製品を PCI スロットに接続し直してください。

その他、本体装置の説明書には、思うように動作しない場合のトラブルシューティングや注意事項などの記載があります。以下の説明書もご確認いただき、該当するものがないか確認してください。

「メンテナンスガイド（Windows 編）または（VMware 編）」 -
「1章 保守」 - 「トラブルシューティング」

「メンテナンスガイド（Windows 編）または（VMware 編）」 -
「2章 機能変更、増設」 - 「ネットワークの二重化」
- 「内蔵オプションの増設・撤去・交換」



- 以上の確認を行っても本体装置が正しく動作しない場合は、一度、本製品を取り外した後、本体装置を起動して自己診断プログラム「POST」の実行で異常がないことを確認してください。
POST が正常に終了するようでしたら、本製品が故障していることが考えられます。本製品を購入された販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

Regulatory Notices

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

N8804-014

1000BASE-T 4ch ボードセット
ユーザーズガイド

856-129948-005- B

2023 年 04 月 2 版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

NEC Corporation
7-1 Shiba 5-Chome, Minato-Ku
Tokyo 108-8001, Japan

© NEC Corporation 2023

落丁、乱丁の際はお取り替えいたします。
この説明書は再生紙を使用しています。



* 856-129948-005- B *